

経営比較分析表（令和3年度決算）

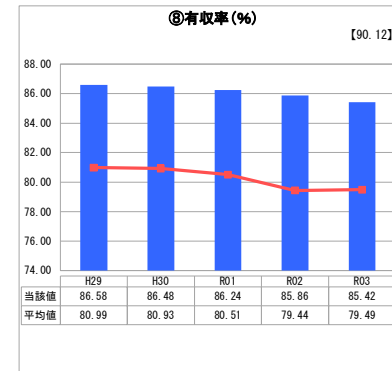
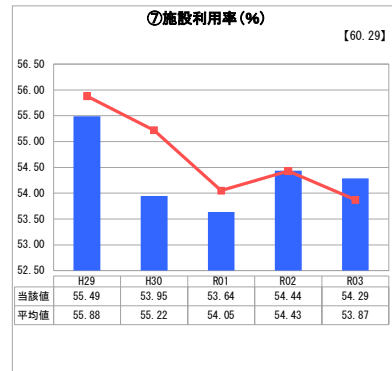
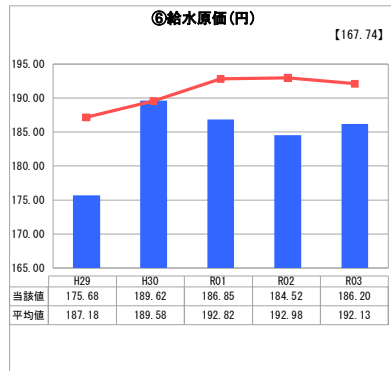
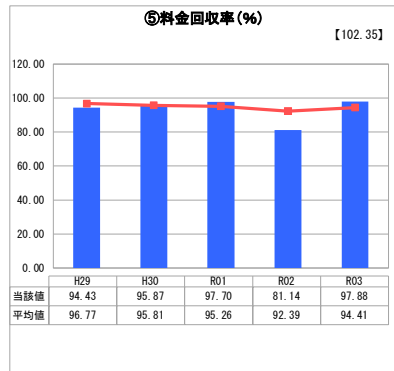
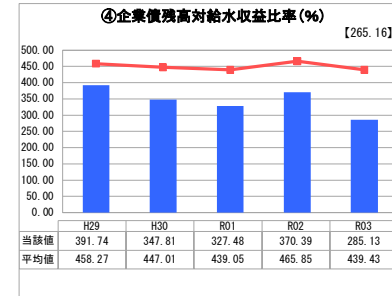
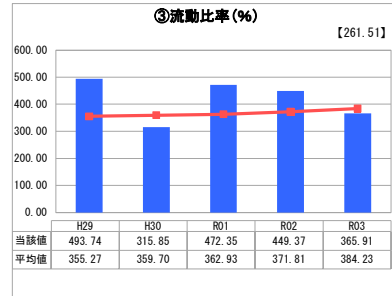
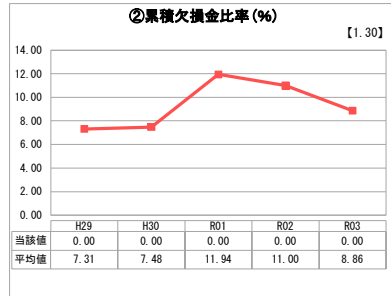
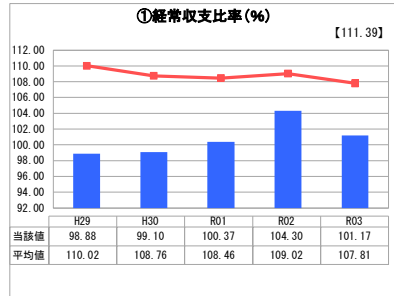
福岡県 鞍手町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ² 当たり家庭料金(円)	
-	64.32	89.20	3,018	

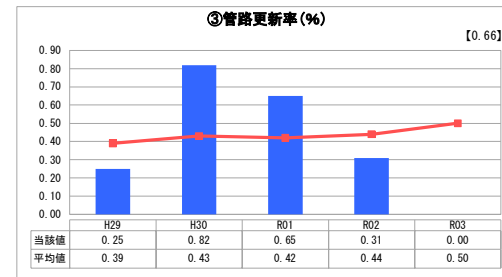
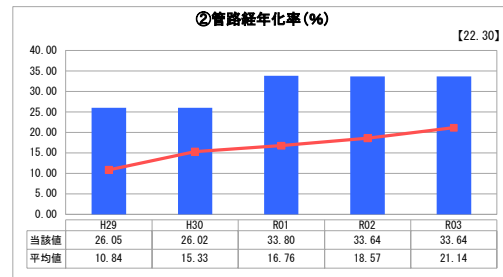
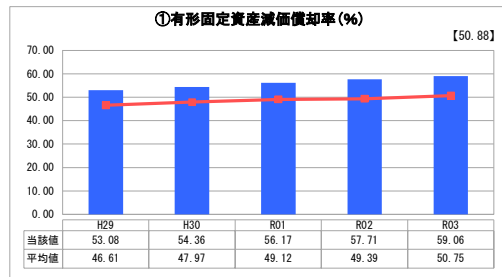
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,346	35.60	431.07
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
13,608	34.95	389.36

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
昨年度が新型コロナウイルス緊急経済対策として、一般会計から補助金の増加があり上昇していたが減少しているように見えるが、単年度収支赤字は保っており、令和元年度に比べても上昇している。

②累積欠損金比率
未処分利益剰余金により相殺されているため発生していないが、引き続き発生しないように努める必要がある。

③流動比率
地方債償還額のピークが続くR4年度までは厳しい状況が続くが、その後は改善される見通しである。

④企業債残高対給水収益比率
昨年度は基本料金を減免したため上昇したが、基本的には減少傾向である。

⑤料金回収率
類似団体の平均値は超えているが、引き続き経費の見直し等の改善が必要である。

⑥給水原価
昨年度に引き続き長期の外出制限により平均値以下であるが、引き続き経費の見直し等が必要である。

⑦施設利用率
引き続きの長期の外出制限により昨年度と近い数字になっている。

⑧有収率
類似団体の平均値より上回っているが100%に近づけるためには改善が必要である。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
管路以外の機械等の中には耐用年数を超えて稼働しているものがあるため、償却率が類似団体平均より高くなっている。

②管路経年率
開設時に布設した配水管に小口径のビニール管が多く存在しているため、類似団体平均に比べて高くなっている。

③管路更新率
R3度は、新規路線を布設したことにより、更新率が減少した。類似団体平均を下回っているため、今後は計画的な更新が必要である。また、浄水場や配水管等の施設整備をいかに計画的に更新していくかが課題である。

全体総括

昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により各項目にともな悪化している。今後も施設の老朽化が進んでいくため、更新に係る費用と経営状況を把握しながら、健全性や効率性を維持し、計画的に施設更新を進めていく必要がある。